

## 稀少な北欧インテリアの数々を集めた期間限定特別企画

### 「LOVE♡北欧」を開催

IDC大塚家具 銀座本店1階



## 北欧フェア LOVE♡北欧

この度、IDC大塚家具銀座本店では北欧家具を集めた期間限定特別企画「北欧フェア～LOVE♡北欧～」を、5月11日（日）まで開催いたします。

銀座本店では、昨年10月の3周年のリニューアルを機に1階で展開する「GINZA the stage」を中心に、1階フロア全体でその時々テーマに合わせたインテリア特集を月替わりで開催しています。

この度は、「北欧フェア～LOVE♡北欧～」と称し、ウェグナーやフィン・ユール、ナナ・ディッツェルなどの代表作をはじめとした、稀少なモデルを期間限定で特別展示・販売します。

また、北欧ヴィンテージ家具やルイス・ポールセンをはじめとした人気の北欧照明のラインナップ、ファブリックやインテリア小物までを多彩に取り揃え、北欧家具・インテリアで構成された魅力ある空間を展開します。



■ GINZA the Stage



■ ヴィンテージ家具ゾーン



**IDC大塚家具**

■問い合わせ先店舗情報

名称：I D C大塚家具 銀座本店

住所：東京都中央区銀座 1-9-13  
銀座柳通りビル 1F～10F

電話番号：03-3562-4321

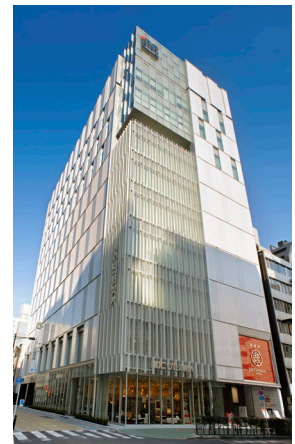
営業時間：10:30～20:00

※2014年3月1日～3月31日までは通常営業  
時間10:30～19:00を1時間延長して営業

営業日：無休（年末年始を除く）

U R L：http://www.idc-otsuka.jp

店舗ブログ：http://ameblo.jp/idc-otsuka-ginzahonten/



テーマはインテリアの楽しさ、アイデア 新・発見。1階から10階の10フロアからなる家具・インテリア専門店の銀座本店（約7000㎡）。東京メトロ「銀座一丁目」駅から徒歩約1分、JR線「有楽町」駅から徒歩約6分。

画像につきましては

下記URLよりダウンロードいただけます。

<http://firestorage.jp/download/5f258d09773da54635a4eb5dde9eb1fd6f1773bb>

短縮URL <http://xfs.jp/9gh4zU>

《本件に関するお問い合わせ先》

株式会社 大塚家具 総合プランニング部 広報課

担当：森・寺戸

TEL：03-5530-5566 / FAX：03-5530-5567

E-mail：森 [hideki@idc-otsuka.co.jp](mailto:hideki@idc-otsuka.co.jp) 寺戸 [k\\_terato@idc-otsuka.co.jp](mailto:k_terato@idc-otsuka.co.jp)

**IDC大塚家具**

# 展示商品一例紹介

# onecollection®



Finn Juhl

Onecollection は 1990 年に "Hansen & Sørensen" として創業し多くのデザイナーや建築家とコラボレーションしながら最新のデザインを発信してきました。

1998 年にフィンユールの夫人の依頼で最初のフィンユールデザインの復刻となる "Sofa No.57" を手がけ夫人の信頼を得、『Finn Juhl の作品はすべて Onecollection から』という夫人の意思のもと 2000 年に "Poet Sofa", "Pelican Chair" の復刻量産化を果たし名作 "Chieftains Chair" や "Chair No.45" を含む 15 種類以上のコレクションを製造をしその優れたデザインを世界中に紹介しています。

そのユニークなデザイン故に量産が難しいと言われるフィンユールの家具ですが Onecollection は独特のアプローチで最新の技術を取り入れ従来以上に高い品質を保ちながら芸術作品やコレクターズアイテムではなく "優れた家具" としてフィンユール作品を製造しています。

現在ではフィンユール家具のほとんどすべてのライセンスを保有し新たにフィンユールデザインの家具の復刻を許されている世界で唯一のメーカーです。

現在は Finn Juhl 作品の復刻で培った技術と品質を信頼され Nanna & Jørgen Ditzel や Tove & Edvard Kindt-Larsen などの有名デザイナーのライセンス保有者から依頼を受けその復刻・製造も行っています。

Onecollection は創業以来多くの優れた北欧のデザイナーや建築家と共に物件向けの家具を作り続けています。その製品の多くはデンマークだけでなく他の北欧諸国をはじめとしヨーロッパやアメリカ、アジア、オセアニアにも輸出され多くの物件に採用されています。



## Card Game table

Design : Finn Juhl

price : 420,000 円 (税抜)      W900 × D 900 × H 720mm      天板：チーク (オイル仕上げ)

天板の四隅がせりあがった特徴あるデザインは、カードを引き寄せる際に役立つもの。小振りなテーブルのため、部屋のコーナーでの設置に適している。今回のワンコレクション社から商品化されたモデルは、天板のネジ隠しに牛骨が使われている。

## Reading Chair

Design : Finn Juhl

price : 165,000 円 (税抜)      W510 × D 580 × H 730 (SH420) mm

背座：チーク (オイル仕上げ)      フレーム：ビーチ材

この椅子の笠木は、後ろ向きに座った際、肘をつくことができるように配慮されたデザイン。カードテーブルと組み合わせて使いたい、フィン・ユールの作品の中でも秀逸な作品のひとつ。今回の展示品はワンコレクション社からの復刻生産品。



フィン・ユール (1912 ~ 1989)

デンマーク王立アカデミーで建築を学び卒業後、ヴィルヘルム・ラオリッツェンの事務所に勤務。1945年に自身の事務所を Nyhaven に開く。

1937年に Cabinetmaker'S Guild exhibitions に出展し家具デザイナーとしてデビューし Jean Arp などのモダンアートの影響を受けた彫刻的な家具のデザインから "家具の彫刻家" と称される。

家具職人としての教育を受けない故に可能になったとも言えるその作風は、当時の主流であったクリント派とは一線を画すところがあり異端児扱いされた。建築より家具デザインで注目を集め、その才能は海外で高く評価され、特にアメリカでは現在も非常に評価、人気共に高い。1952年までほとんど無名だったフィン・ユールを一躍有名にしたのがニューヨーク国連ビル 信託統治理事会議場のインテリアであった。この実績から後、フィン・ユールの作品は世界に広がって行くことになった。





## Chair 108

Design : Finn Juhl / 1946

price : 234,000 円 (税抜)    W510 × D 550 × H 750 (SH450) mm

展示 : チーク材 (オイル仕上げ) 革 N A

フィン・ユールは多くのすばらしい椅子をデザインしてきましたが、onecollection のフィン・ユールコレクションで初めてのダイニングチェアは 1946 年にデザインされた作品です。この作品は背座がフレームから浮いたように見えるフィン・ユールの特徴的なダイニングチェアで軽快感のあるデザインです。



フィン・ユール (1912 ~ 1989)

デンマーク王立アカデミーで建築を学び卒業後、ヴィルヘルム・ラオリッツェンの事務所に勤務。1945 年に自身の事務所を Nyhaven に開く。

1937 年に Cabinetmaker'S Guild exhibitions に出展し家具デザイナーとしてデビューし Jean Arp などのモダンアートの影響を受けた彫刻的な家具のデザインから "家具の彫刻家" と称される。

家具職人としての教育を受けない故に可能になったとも言えるその作風は、当時の主流であったクリント派とは一線を画すところがあり異端児扱いされた。建築より家具デザインで注目を集め、その才能は海外で高く評価され、特にアメリカでは現在も非常に評価、人気共に高い。1952 年までほとんど無名だったフィン・ユールを一躍有名にしたのがニューヨーク国連ビル 信託統治理事会議場のインテリアであった。この実績から後、フィン・ユールの作品は世界に広がって行くことになった。



## Chair 109

Design : Finn Juhl / 1946

price : 234,000 円 (税抜)    W650 × D 550 × H 750 (SH450) mm

展示 : ウォールナット材 (オイル仕上げ) 革 R E D

109 Chair は 1946 年にデザインされました。エレガント、かつ魅力的という、フィン・ユールの典型的なデザインの特徴を持つチェアです。

三次曲面の彫刻のような美しい肘が特徴のこの椅子は、先端のわずかなくぼみを指先で撫でる楽しみがあります。

また肘掛けを備えていないモデル 108 Chair に大変マッチします。



フィン・ユール (1912 ~ 1989)

デンマーク王立アカデミーで建築を学び卒業後、ヴィルヘルム・ラオリツェンの事務所に勤務。1945 年に自身の事務所を Nyhaven に開く。

1937 年に Cabinetmaker'S Guild exhibitions に出展し家具デザイナーとしてデビューし Jean Arp などのモダンアートの影響を受けた彫刻的な家具のデザインから "家具の彫刻家" と称される。

家具職人としての教育を受けない故に可能になったとも言えるその作風は、当時の主流であったクリント派とは一線を画すところがあり異端児扱いされた。建築より家具デザインで注目を集め、その才能は海外で高く評価され、特にアメリカでは現在も非常に評価、人気共に高い。1952 年までほとんど無名だったフィン・ユールを一躍有名にしたのがニューヨーク国連ビル 信託統治理事会議場のインテリアであった。この実績から後、フィン・ユールの作品は世界に広がって行くことになった。



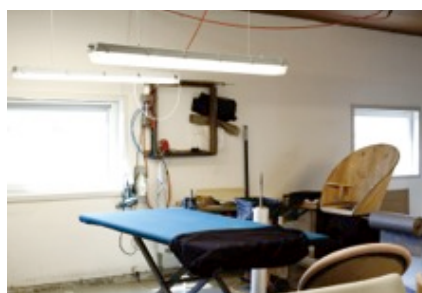
数々の家具の中で、家具好きの心を魅了し続けるのが椅子、昔からの有名デザイナーの作品も椅子を中心に語られることが殆どです。

椅子づくりの中で最終の張り工程は地味ですが最も大切でその美しさの表現や座り心地に影響を及ぼします。また、その作業は機械化の進む現在でも殆どが手作業で行われ張り手の技術によって出来上がりに大きく差が出る工程でもあります。長年家具メーカーの下請けの椅子張り専門工房として有名作品の張りや新しいデザインの椅子の開発の張りを通じて支えてきたことで座り心地や形を知り尽くした Brdr. Petersen が自社ブランドとして名作椅子の復刻を始めました。



デンマーク第二の都市オーフス郊外の田園地帯に位置するこの工房は、1973年にEgonとErling双子のPetersen兄弟によって椅子張り専門の工房として創業しました。1973年創業当時から下請けとしてデンマークの一流メーカーの張り仕事を専門的にやっており、現在では特にFinn Juhlのソファの張りを担当しています。1973年の創業時は黄金時代が終わりデンマークの家具業界のトレンドが安価な物の開発へ向かっている時期でしたが時は移り現在デンマークでトレンドとなりつつあるミッドセンチュリーデザインの復刻の動きを受けてヴィルヘルム・ラウリッツェンデザインのレディオハウス（1936年デザイン）をデンマーク音楽アカデミーが受け継ぐにあたっての改装でソファの復刻を担当した事を契機としてミッドセンチュリーにデザインされた椅子の復刻を始めました。

現在はヴィルヘルム・ラウリッツェン、ナンナ・ディッツェル、イプ・コフォード・ラーセンの作品の復刻を行っています。







## ODA Chair

Design : Nanna & Jørgen Ditzel / 1956

ODA Chair price : 744,000 円 (税抜 4月～) W850 × D 850 × H 1000 (SH400) mm

ODA Stool price : 104,000 円 (税抜 4月～) W490 × D 480 × H 400mm

展示：ウォールナット材（オイル仕上げ）

ODA Chair は 1956 年にデザインされ長い間忘れ去られた椅子でした。

この椅子の図面はすでに失われており、Nanna Ditzel design studio に保管されていた  
ヴィンテージより復刻されました。

大きな空間をもって背もたれ内に配置された肘掛けが母親が子供に授乳するのにとても都合がよいため ”  
Nursing Chair” と一般的に呼ばれていましたが、正式な名称はありませんでした。

この椅子が復刻される際、彼女の良き友でありサポーターでもあった織田憲嗣教授の資料が大きな手助け  
となったことから彼に敬意を表し Nanna Ditzel の娘により Oda chair と命名されました。



## Nanna & Jorgen Ditzel

ナナ & ヨルゲン・ディッツェル

ナナ・ディッツェルは 1946 年に工芸美術学校を卒業し、同年、夫であるヨルゲン・ディッツェル氏（1961  
年没）と共に事務所を設立しました。ジョージ・ジェンセンのためのジュエリーデザインだけでなく、家  
具やテキスタイルのデザインも手掛けています。1951、1954 年および 1957 年にはミラノトリエンナー  
レで銀賞、1960 年には金賞を受賞しました。

また 1956 年には、優れた北欧デザイナーに与えられるルニング賞（ルニングプライズ）に輝いています。



## Penguin Rocker

Design : Ib Kofod-Larsen / 1956

Penguin Chair price : 248,000 円 ( 税抜 4 月～) W550 × D 850 × H 740 (SH420) mm

1956年のデザインで、背もたれの形状から Penguin Chair と名付けられました。ソリッドスチールのフレームに成型合板の背もたれ。ダイニングチェア、ラウンジチェア、ロッキングチェアの3種類によって構成されています。



## Ib Kofod-Larsen

イブ・コフォード・ラーセン (1921 ~ 2003)

ウェグナーやモーエンセンらと同時代に活躍し多くの傑作を生み出したデザイナー。彼のデザインはアメリカやイギリス、スウェーデンなどデンマーク以外で製造・販売されていたが、現在ではその価値が広く知られるようになり、家具マニアの間で高値で取引されている。



## 100年以上受け継がれた伝統の品質

GETAMA 社は今から 100 年以上遡る 1899 年に海に近い Gedsted という町でマットレスを製造する工場として創業しました、当時のマットレスは海藻を詰め物として作られおりその "Gedsted Tang (海藻) Mattress" という頭文字が GETAMA 社の名前の由来となっています。

海藻マットレスの製造から始まった GETAMA 社の歴史は詰め物を海藻からスプリング、ウレタンフォームなどへ時代の変遷と共に素材を変え、またマットレスからソファ、テーブルへと要求とともに製品の幅を広げて行きました。

時代の変化の中でその求められる物を豊富な経験を基に作り上げて行く事で自社の技術、品質を高め 100 年以上たった現在でも高品質の家具を製造し続けています。

現在では創業当時のベッド、マットレスはもちろんのこと家庭用のソファ、テーブル、オフィス家具から劇場用の椅子に至るまで様々な製品を製造しています。

GETAMA 社にとって 1950 年代初頭 Hans J. Wegner と共に商品開発を始めた事は大きな転機となります、デザイナーの高い要求に応えるため常に新しい技術を開発した高い品質を併せ持った製品を製造する事が要求されました。

その中で現在まで続くロングセラーとなる GE258, GE259 などのデイベッド、GE290 シリーズのソファなど数多くの製品が生み出されていきます。

現在も多くのウェグナーデザインの GETAMA 社の製品がユーズドとして流通しています。GETAMA 社の製品はそれだけの長い時間を経ても使い続けられる耐久性を持った製品でもあります、また GETAMA 社では既に廃盤となった製品に対してもカバーやクッションなどパーツの販売等のサポートも行っています。

ウェグナーデザインの製品群は現在でも GETAMA 社の一番重要な製品として製造されています、他のメーカーで製造されていた廃盤になってしまった製品の復刻や現在のトレンドに合わせた色や布地のアレンジなど今もウェグナーのデザインは GETAMA 社の製品の中で進化を続けています。



## Highback chair 1201

Design : Bernt / 2012

price : 340,000 円 (税抜)

サイズ : W 60 × D 74 × H 112cm

シート高 : 42cm

張り地 : ファブリック or レザー

ボディ : 成型合板

取り外し可能なクッション付き

脚 部 : クロームメッキ

固定またはチルト機能付き



## Bernt

ベアント (1937 ~)

1957年に指物師の資格を得たベアントは、1960年にデンマークデザインスクールを卒業後、ハンス・J・ウェグナーのもとで働きました。1963年に自身の事務所を開設。

1977年より王立アカデミー家具科の講師を務めています。

デンマーク国内外の公共施設のデザインの監督も多く務めたデザイナーです。



## Butterfly Chair GE460

Design : Hans J. Wegner / 1977

price : 228,000 円 (税抜 4 月～)

サイズ : W 64 × D 71 × H 68cm

シート高 : 38cm

アーム高 : 54cm

張り地 : ファブリック or レザー

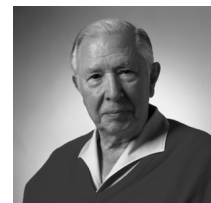
木 部 : ビーチ材 / 無塗装・ソープ・オイル・ラッカー・ステイン

オーク材 / 無塗装・ソープ・オイル・ラッカー・ステイン

アッシュ材 / ステイン

## Hans J. Wegner

ハンス J・ウェグナー (1914 ~ 2007)



ハンス J・ウェグナーは 20 世紀のモダン家具デザインをリードした、デンマークの最も有名な家具デザイナーです。

1943 年に自分のデザインスタジオを開設し作成した“チャイニーズチェア”は、1949 年の“ラウンドチェア”とともに、彼のその後のチェアの多くの基礎を形成しました。“ラウンドチェア”は、後に“ザ・チェア”として知られるようになります。“ザ・チェア”が、おそらくウェグナーの経歴の代表作であり、“ウィッシュボーンチェア”は、彼の最も成功したデザインであると考えられています。

ウェグナーの GETAMA との協同は 1950 年代の初頭から始まり、ほどなくして、前からだけでなく後ろから見ても美しい“GE290”ソファが発表されました。また学生寮のためにデザインしたデイベッドは機能的でシンプルな中にも、ウェグナーの非凡なデザインセンスがうかがえます。さらにはこの頃からすでに、木の家具だけでなくスチールなどの素材を貪欲に取り入れたソファも発表しています。

ハンス J. ウェグナーは彼の仕事に対して多くの国際的な賞を受賞しました。

1997 年 6 月には、ロンドンのロイヤルカレッジオブアートで名誉博士号を授与されています。





## Ring Chair

Design : Nanna & Jørgen Ditzel / 1958

price :293,000 円 (税抜 4月～)  
 サイズ : W 85 × D 85 × H 70cm  
 シート高 : 43cm

張り地 : ファブリック or レザー

木 部 : オーク材

仕上げ : ソープ・オイル・ラッカー

ウォールナット材 / オイル



## Nanna & Jorgen Ditzel

ナナ & ヨルゲン・ディッツェル

ナナ・ディッツェルは 1946 年に工芸美術学校を卒業し、同年、夫であるヨルゲン・ディッツェル氏（1961 年没）と共に事務所を設立しました。ジョージ・ジェンセンのためのジュエリーデザインだけでなく、家具やテキスタイルのデザインも手掛けています。1951、1954 年および 1957 年にはミラノトリエンナーレで銀賞、1960 年には金賞を受賞しました。

また 1956 年には、優れた北欧デザイナーに与えられるルニング賞（ルニングプライズ）に輝いています。



## Mondial

Design : Nanna Ditzel / 2000

2人掛けソファ price : 685,000 円 (税抜 4月～)  
チェア (アーム高 : 54cm) : W 78 × D 74 × H 74cm  
チェア (アーム高 : 74cm) : W 83 × D 74 × H 74cm  
2人掛けソファ : W 145 × D 74 × H 74cm  
3人掛けソファ : W 200 × D 74 × H 74cm



張り地 : ファブリック



## Nanna & Jorgen Ditzel

ナナ・ディッツェル (1923～2005)

今でこそ、デンマークデザイン界には多くの女性が活躍していますが、ナナ・ディッツェルこそがその道を切り開いたと言えるでしょう。

主にジョージ・ジェンセンのジュエリーや、テキスタイルのデザインを手掛けていましたが、1990年代に入ってから積極的に家具のデザインにも携わるようになりました。

「草花の美しさや、生物や昆虫のフォルムなど、自分が美しいと思ったものをデザインに生かしている」と言う彼女のデザインには女性的な優しさや、自然の美しさに対する敬意があらわれています。

1956年、優れた北欧デザイナーに与えられるルニング賞 (ルニングプライズ)、

1960年、ミラノトリエンナーレ金賞など、数々の賞に輝いています。



## Dennie

Design : Nanna & Jørgen Ditzel / 1956

Dennie Chair price : 368,000 円 (税抜 4月～) W820 × D 800 × H 900 (SH370) mm

Dennie Stool price : 71,000 円 (税抜 4月～) W400 × D 500 × H 350mm

oncollection 社は、ナナとヨルゲン・ディッツェルによってデザインされた椅子、フットスツール、テーブルを復刻いたしました。椅子はフリッツ・ハンセン社のために 1956 年にデザインされましたが、大量生産には至りませんでした。

ナナ・ディッツェルは 2006 年に他界しました。両親のデザイン遺産を相続している娘のデニーは oncollection 社に、家の中で常に母の居場所であったこの椅子を復刻するよう依頼しました。

彼女にとってこの椅子は、声を出して物語を読んだりした幼い頃の思い出の詰まった椅子です。そこで椅子はデニーと名付けられたのです。



## Nanna & Jorgen Ditzel

ナナ & ヨルゲン・ディッツェル

ナナ・ディッツェルは 1946 年に工芸美術学校を卒業し、同年、夫であるヨルゲン・ディッツェル氏（1961 年没）と共に事務所を設立しました。ジョージ・ジェンセンのためのジュエリーデザインだけでなく、家具やテキスタイルのデザインも手掛けています。1951、1954 年および 1957 年にはミラノトリエンナーレで銀賞、1960 年には金賞を受賞しました。

また 1956 年には、優れた北欧デザイナーに与えられるルニグ賞（ルニグプライズ）に輝いています。